

# 立体内装パネル「サカイリブ」で “光と陰と影”が織りなす魅力的空間を創出

(株)サカイ



幅広い分野の店舗に採用されている「サカイリブ」。立体の織りなす“光と陰と影”が魅力的な空間を創出する

## ◆豊富なバリエーションで 幅広い分野の施設が採用

(株)サカイは、福岡市に本社を置く内装パネル材の製造・販売会社だ。1987年の設立以降、同社の内装パネル材は、レジャーホテルはもちろん、物販店、飲食店、美容・医療施設など、幅広い業種の店舗に採用されてきた。

同社の内装パネル「サカイリブ」は、表面にさまざまな形状の凹凸のある“立体内装パネル”である。壁や天井、柱などに張付けることで、クロスや塗装などの平面では表現できない独特な雰囲気を創出する建築素材だ。

同社の設立当時も立体内装パネルはあったが、種類が限られていた。同社には、設計者やインテリアデザイナーから「こんな形状の立体内装パネルがほしい」といった要望が寄せられた。新しい形状をつくるには手間もコストもかかるが、同社はそういった要望に自社工場で真摯に対応していった。

その結果、年々、形状のバリエーションが増え、現在では半円、波、三角、角山などの基本パターンの組合せだけでも100種類以上に及ぶ。設計者やインテリアデザイナーにとっては、空間全体の雰囲気やデザインコンセプトに最適な立体内装パネルを選ぶことができるわけだ。もちろん、現在も新たな形状の新製品を開発・提供し続けており、特注のオリジナル形状にも対応するから、形状バリエーションは限りがないといっていよう。

## ◆光と陰と影の織りなす 魅力的な空間演出

レジャーホテル分野での活用の仕方をみると、壁や天井などの全面に使用するケースもあるが、客室内の壁や天井の一部にデザインポイントとして使用するケースも多い。また、エントランスやフロント周りに使用すれば、お客様の第一印象を大きく変えてくれる。多彩な形状バリエーションが揃っ

ているだけに、多様なデザインコンセプトの空間での活用が可能だ。

同社代表取締役・堺道明氏は「インテリアデザイナーなどデザインのプロによって効果的な照明を加えていただくと、立体の形状が光と陰（シャドウ）と影（シェード）の織りなすハーモニーを生み、より魅力的な空間演出となります」と、照明と連動させた演出が効果的と指摘する。

経営者にとって気になるのは価格だが、厚さ・素材・形状で価格は異なるが、ホテルの壁面などに使用する一般的なタイプなら、1㎡あたり2万円前後が目安という。効果的な活用によって低コストで大幅なイメージチェンジが可能な建築素材といえよう。

[問合せ]

(株)サカイ

福岡市東区塩浜 1-27-24

Tel.092-606-7810

フリーダイヤル 0120-07-7810

<http://www.sakairib.com>